

平成17年10月分電力需給状況

需要の概要

平成17年10月の販売電力量は、22億1千万9百万kWh時、前年比103.1%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は前年比99.1%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、10月の気温が前年に比べ高めに推移したことによる冷房需要の増加などから、前年比106.8%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、鉄鋼、機械における生産増などから、前年比106.8%となった。

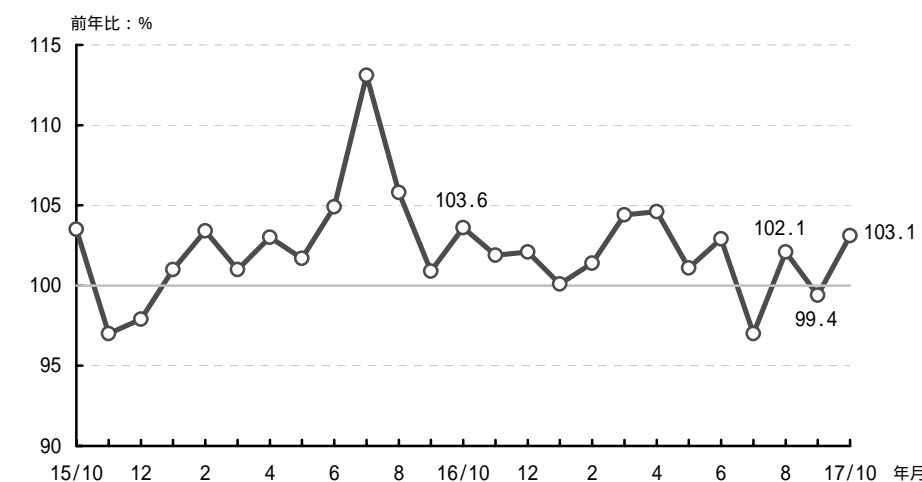
需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	688	99.1
	電 力	173	98.5
	計	861	99.0
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	470	106.8
	産業用電力	888	105.4
	うち大口電力	(683)	(106.8)
	計	1,358	105.9
販売電力量 計		2,219	103.1
融 通		670	89.8

注1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。
注2. 17年4月より自由化範囲が拡大されたことに伴い、16年度以前の需要区分と一部異なる。
前年比は、前年同月の実績を現在の区分に合わせるにより算定した。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		17/10月	17/9月	17/8月
紙・パルプ	116	107.2	102.7	107.8
化 学	157	113.3	101.6	106.1
鉄 鋼	85	103.8	93.2	126.4
機 械	138	105.0	103.8	105.7
そ の 他	187	104.2	101.6	102.5
合 計	683	106.8	101.5	107.2

(参考2) 4県都平均気温

()

	17/9月				17/10月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	26.8	26.3	24.1	25.7	22.9	20.7	16.5	19.9
平年差	1.2	2.4	2.2	1.9	2.7	2.1	0.1	1.6
前年差	1.1	0.1	0.1	0.3	1.4	1.6	0.3	0.9

供給の概要

- 原子力は、前年比99.3%となった。
- 水力は、湯水により前年比48.7%となった。
- 以上の結果、火力は、前年比116.5%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比	備 考
原子力	(35) 1,095	99.3	出水率 55.7% (16年10月出水率 157.5%)
水 力	(7) 231	48.7	
火 力	(58) 1,806	116.5	
発受電計	(100) 3,132	100.2	
その他	48		
供 給 計	3,084	100.1	

注.()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(103.0) 516	(100.1) 368	(105.0) 773	(102.6) 562

注.()内は前年比